

## 神奈川県立麻生養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立麻生養護学校における学校運営協議会		
開催日時	令和5年2月16日(木)		
開催場所	神奈川県立麻生養護学校会議室及びオンライン会議のハイブリット		
(役職名) 出席者	(会長)伊藤委員、(副会長)岡本委員、久保田委員、佐藤委員、山口委員、山崎委員 <学校職員>(副校長)立花、(教頭)森本、古川、(総括教諭)松岡、高橋寿、宮澤、飯田、藤原、岩田		
次回開催予定日	令和5年6月 予定		
問合せ先	所属名：麻生養護学校、担当者名：立花 裕治 電話番号：044-980-4855 ファックス番号：044-986-2517		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	/
会議経過	<p><b>1 校長挨拶</b> 「地域への貢献」の視点からの報告とお礼 1年間の取り組みの成果と課題を明らかにし次年度に向けた改善の方策を探る上で専門性の立場からご助言をお願いしたい。</p> <p><b>2 会長、副会長挨拶</b></p> <p><b>3 協議会・部会</b></p> <p>(1) 各目標について 担当より資料に沿って説明。</p> <p>(2) 協議・御意見</p> <p>○アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からはインターネットからの回答が多かった。</li> <li>・調査にあたり「具体的な取組の内容」を添えたが、伝わりにくいことはあったかもしれない。アンケートを保護者と教員に同じようにとる意義や保護者にわかりやすい質問を考えていく必要がある。</li> <li>外部への発信の充実について今後、検討していくことが必要と思う。</li> <li>・言葉で返すところを大切にしたい。自由記述欄をつくったが整理しきれていない。保護者の意見を受け止めていきたい。</li> <li>・社会とかかわる力をポイントにしているところが良い。コロナ前に戻すのではなく新しいものを取り入れて進めていることがわかる。</li> <li>・多様な職種がかかわるのは良い。障害の重度化と言われるが軽度と言われる方のこともしっかり考えていく必要がある。</li> <li>・今年度は保護者と教員に同じ質問をして、意識の差をみたかった。例え</li> </ul>		

ば ICT では学校は活用して進んだなととらえていても保護者には実感しにくいところ。どう実感してもらえるか発信することが大切。今後、発信する視点のご助言をいただけるとありがたい。

○模擬投票について

- ・丁寧に積み重ねて計画的に進めていきたい。
- ・社会に出たら選挙権利を得るので、大人社会に入っていくときに必要なこととなる。

○医療的ケアを必要とする生徒の卒業後について

- ・放課後等デイサービスを利用している人の卒後も考える必要がある。
- ・進路の話をするときに現状は伝えるようにしている。
- ・卒業後の生活で事業所が終わった後の時間の過ごし方も少しずつ対応が増えてきている。

○未定稿の丁寧なかかわりのスタンダードについて

- ・先行事例を参考にしたが、負のイメージではなくプラスにとらえ、こういうことを工夫している、やっている、それぞれ紹介しあうところから始まった。載っているのは本校の職員の生の言葉である。
- ・生の声を感じ取れた。意見交換から発展させてほしい。
- ・人とかかわる仕事は感性が大切。感性を育てていくと対応をよくしていく基本となる。
- ・年齢に合ったかかわり、社会とのかかわりの視点が教員の中で話されている。コンサルテーションが大切。リソースを知ることから開けていく。発展させ形にしてほしい。
- ・さまざまなニーズがある児童生徒にいろいろな視点から意見を出し合ってきた。教員の学びにつながるとよいと考えている。

○業務改善について

- ・業務改善は特定の時期ではなく直面したものは随時やっていく。
- ・改善を提案できる仕組みづくりをしていく。どうにかならないかを提案、実行していく仕組み。foams なども活用し改善していく。

○他のご意見等

- ・分教室の給食喫食体験と食育の取組みはユーザーズエビデンスである。
- ・清掃活動は自分の活動が社会につながっているという考え方で大切。

**(3) 切れ目ない支援部会**

- ・総合防災訓練に麻生養護学校が参加した学校の現状の情報発信だけでなく地域に役に立つ情報を発信していく。
- ・施設設備の改善は自分たちで主体性をもって改善していくことが大切。
- ・広報誌（あさおインフォメーション）に関しては「みんなが何を知りたいか」の視点を持っていくことが大切である。

#### 4 委員長挨拶

さまざまなニーズをとらえて発信している。次のステップを考えている。来年度どうなるのか楽しみである。次のステップに向かってくれたらよいと思う。

#### 5 副会長挨拶

一生懸命取り組んでいることを実感した。一枚岩となってまとめていくのは難しいところではあると思うが、新しく入ってくる子どもがスムーズに学校の環境になじめるように取り組んでほしい。

#### 6 校長挨拶

励ましやご専門の立場からのご意見をいただきありがとうございます。たくさんの意見をいただけありがたい。いただいたご意見を参考に令和5年度も引き続き積み上げをしていく。